

平成30年度第2回さぬき市男女共同参画推進協議会 会議要旨

- 1 日 時 平成30年7月9日(月) 14:00～16:00
- 2 場 所 さぬき市役所 附属棟 多目的室
- 3 出席者 【委員】尾崎委員 柿木委員 金子委員 亀井委員 多田委員 筒井委員
南田委員 宮本委員 六車委員 村上委員 山中委員
【事務局】向井総務部長 酒井室長 三宅主査
株式会社ぎょうせい四国支社 家久課長代理 山内主任研究員
- 4 傍聴者 なし
- 5 会議次第
- 1 開会
 - 2 あいさつ
 - 3 議事
 - (1) 「中学生ワークショップ」について
 - (2) 「第2次さぬき市男女共同参画プラン」進捗状況調査について
 - (3) 計画策定に向けた委員意見交換(グループミーティング)
 - (4) その他
 - ・今後の会議予定について
 - ・男女共同参画推進活動事業(市民企画事業)スケジュール
 - ・男女共同参画週間パネル展 実施報告書
 - ・男女共同参画週間セミナー 実施報告書
 - ・男女共同参画セミナー(おもしろ世界一周スタンプラリー)実施計画書
 - ・男女共同参画出前講座(カルタで語ろう 私たちの生活!)実施計画書
 - ・日本女性会議2018 in 金沢
 - 4 閉会
- 6 配布資料
- 資料1 第2次さぬき市男女共同参画プランの見直しに関する中学生ワークショップ実施要項
- 資料2 「第2次さぬき市男女共同参画プラン」推進施策の実施状況調査 調査票
- 資料3 その他資料
- その他 事前送付資料(計画策定に向けた委員意見交換(グループミーティング))

7 議事の経過及び発言要旨

発言者	意見概要
事務局	<p>< 開 会 > (14:00)</p> <p>本日は、御多忙の中、御出席いただきありがとうございます。 ただ今から平成30年度第2回さぬき市男女共同参画推進協議会を開会します。</p> <p>はじめに、さぬき市男女共同参画推進協議会村上会長からあいさつを申し上げます。</p>
会長	<p><会長あいさつ></p>

事務局	<p>ありがとうございました。 次に、向井総務部長があいさつを申し上げます。</p>
総務部長	<p><総務部長あいさつ></p>
事務局	<p>ありがとうございました。 つづいて、会議の公開についてです。 本会議は、「附属機関等の委員の構成及び会議の公開に関する指針」に基づき、「原則公開」となっています。 本日は、協議会の傍聴要領に従い 13 時 30 分から受付しています。いまのところ傍聴の希望はありませんが、傍聴希望があった場合には、随時許可することとします。</p>
会長	<p>それでは、議事に入ります。 さぬき市男女共同参画推進協議会規則に基づき、進行は村上会長にお願いします。</p> <p>よろしくをお願いします。 はじめに、本日の会議についてですが、終了予定時間を 16 時としたいと思いますので、ご協力よろしくをお願いします。 なお、本日の会議には、第 2 次さぬき市男女共同参画プラン（後期計画）の策定支援を担当する「株式会社ぎょうせい」の家久さんと山内さんが同席していますので、よろしくをお願いします。</p> <p>では、議事（1）「中学生ワークショップについて」、議事（2）「第 2 次さぬき市男女共同参画プラン進捗状況調査について」、事務局からまとめて説明をお願いします。</p>
事務局	<p><資料 1 及び資料 2 に基づき説明></p> <p>①中学生ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者は男子 8 名、女子 8 名の合計 16 名となる。 ・男女共同参画について参加者自身に考えてもらえるよう、自主性を尊重した進行を目指す。 ・委員による傍聴を認めるので、希望する場合は事務局まで事前に申し出ること。 <p>②第 2 次さぬき市男女共同参画プラン進捗状況調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画プランの見直し年度となるため、課題発見の機会として 3 つの設問【①取組の問題点や課題、②後期計画の方向性、③その方向性を選んだ理由】を追加した。 ・調査の結果は、次回会議で報告する。
会長	<p>2 つの議事について、質問や意見、提案がありましたらお願いします。</p>
委員	<p><質疑なし></p>
会長	<p>事務局は、委員と情報共有を図りながら、取組を進めてください。</p> <p>次の議事に移ります。 議事（3）「計画策定に向けた委員意見交換（グループミーティング）」について、事務局から説明をお願いします。</p>

事務局	<p><事前送付資料に基づき、意見交換の進行方法を説明></p> <ul style="list-style-type: none"> ・この意見交換は、さぬき市の現状や課題を委員が共有することで、後期計画の策定方針・重点目標を明らかにすることを目的とする。 ・【基本目標】別にグループを作って議論を深め、市民から寄せられた意見の中から「さぬき市の男女共同参画の特徴」を3点以内にまとめていただきたい。 ・共有した課題が、「市」「市民」「事業所」「団体」のうち、誰が主体となって取り組むべき内容なのか、あわせて考えていただきたい。
委員	3つ以内のポイントに絞る、誰にとっての課題なのか区分する、との説明だったが、委員の意見が、たとえば市民だけに偏る可能性もあると思うが、それでもよいのか。
事務局	たとえば市民という視点に絞って議論を掘り下げる、といった議論でも構わない。
委員	それぞれの【基本目標】は、かなり幅広い範囲を含んでいる。 たとえば、下位階層の【基本方針】のいずれかに絞って議論を進めても支障ないか。
会長	意見のまとめ方は委員にお任せします。幅広い施策がある中で、委員が重要だと認識した部分について、その理由を含めて議論を深めてください。 それでは、グループごとに議論を開始してください。
委員	<委員意見交換（グループミーティング）>
会長	時間になりましたので、グループでまとめた意見を発表してください。
委員	<p>【基本目標1】誰もが認め合えるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会や職場の中で、女性の役割が決めつけられがちな現状がある。女性は、重い役割を遠慮する場面があったり、発言力が下がったりしている。 ・女性に対する暴力は、さぬき市でも間違いなく存在するが、表面化しているのは一部分だけだと考えられる。家庭内で男性が女性に暴力を振るったとき、その事実が家庭の外に広まると男性の地位が危うくなると考え、じっと堪えている、埋もれている、相談しづらい状況にあるという危惧がある。 ・女性問題に関する人権教育は、学校教育・社会教育・家庭教育で取り組んでいるものの、十分連携できていない。単独の取り組みでは教育効果が限られてしまう。
委員	<p>【基本目標2】誰もがあらゆる分野で活躍できるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワーク・ライフ・バランスの実現が理想ではあるが、企業や個人の努力だけでは難しい部分もある。様々な場面で女性に活躍してもらうためには、女性が活躍できるだけの時間的余裕を作ることが求められる。そのためには、男性が年次有給休暇や育児・介護休業制度などを利用できる社会づくりが必要だろうし、企業側も従業員が休暇を取れるだけの生産性向上が求められる。 ・農林水産業の分野は、各家庭内での役割分担も関与してくるので、どう取り組むべきか難しい。たとえば第一次産業と企業がコラボし、アグリビジネスに進出した事例もある。そういった地域の変化によって、取組状況にも変化が起きるではないか。 ・課題をまとめると、「時間の創出」と「意識の改革」になるが、こうした課題が、企業や個人のレベルではなく、社会全体の問題だと認知されることが必要だ。

委員	<p>【基本目標3】誰もが安心して暮らせるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の立場で考えた場合、各種協議会でも課題として挙げられるが「相談窓口の不足（周知不足）」。DVやパワハラ、高齢者（認知症・徘徊）、障害者（手帳発行）などの相談窓口を当事者が知らない・分からない場合に、周囲の人が知っている・案内できるレベルまで周知・情報共有することが必要である。 ・次に「地域レベルでの防災体制の不備（当事者意識の欠如）」。年1回、地域で防災訓練を行っているが、自主防災組織や訓練内容が形骸化しては意味がない。何のための訓練なのか、地域住民自身に考えてもらえるような取組が必要である。 ・最後に「地域レベルでの支援体制の不備（組織の連携不足）」。市内で活動する各種団体では、女性が中心になって活動しているところが多くあるが、男女共同参画や女性の視点を生かすといった意識は十分高まっていない。また、団体同士や行政、社会福祉協議会などと連携するような動きも弱い。 ・いずれの課題も、地域と行政の結びつきが強まらない限り解決できない。
会長	<p>熱心な議論と発表をいただき、ありがとうございました。 続いて委員全体での意見交換に移りますが、ここで一時休憩とします。</p> <p><休憩></p>
会長	<p>会議を再開します。熱心に意見交換いただき、ありがとうございました。 短時間の議論にもかかわらず多くの指摘があり、さすが委員の皆様だと感じました。 これから意見交換に移りますが、この意見交換は、課題の解決方法を見出すものではありませんし、その必要もありません。委員の皆様の考えを積極的にお示しいただき、考察のきっかけや解決策に向けた幅広い意見を述べていただければと思います。</p> <p>まず、【基本目標1 誰もが認め合えるまちづくり】について意見ををお願いします。</p>
委員	<p>それぞれの取組をつなげることは、たしかに大切である。 東北地方を取り上げたテレビ番組で、宮城県石巻市の漁師カレンダーがあった。漁業を支える男性と女性の働きぶりを写真に収めてカレンダーを作り、地域に配ることによって、男女それぞれの役割があり、コミュニティ内で上手く循環していることを実感できていた。地域内で、男女がそれぞれの立場で役割を果たし、相互に刺激し合うことができるのが理想ではないか。 さぬき市商工会女性部を例に示すと、驚くほどのパワーがある。女性自身が担いたいと思える役割、担うべき役割などが整理できれば、うまく機能していくと思う。</p>
会長	<p>ありがとうございました。 【基本目標2 誰もがあらゆる分野で活躍できるまちづくり】について意見ををお願いします。</p>
委員	<p>企業経営者の立場で意見を述べると、能力ある女性には働き続けてもらいたい。 出産や育児、介護などで離職しなくてもよい仕組みが整備できれば、個人や家庭、地域の仕組みや考え方、個人の人生設計までもが良い方向に向かうのではないか。 グループミーティングで意見が出たとおり、「時間的な余力」と「金銭的な余力」が重要な要素だと思うので、フルタイムやパートタイム、定年までの雇用など、様々な働き方を選択できる事業所が増えることが望ましいし、積極的な取組を行う事業所には行政支援があってもよい。</p>

会長	たとえば子育て中の母親が半日出勤を希望する場合、さぬき市では子どもの預け先などは確保できていますか。
事務局	年齢などの条件により、希望する施設に入所できない場合もあるが、さぬき市全体では待機児童はいないと聞いている。
委員	子育てには家族のフォローも大切だ。共働き世帯で子どもが病気になる、調子を崩す、気象警報が出て臨時休校になるといった場合には、子どもを預けられる場所があるかどうかが大きき要素となる。さぬき市では、祖父母と近居・同居する子育て世帯が多いと言われるが、そうでない世帯にとっては厳しい子育て環境だという意見も聞く。
会長	その場合、子育て世帯に救いの手を差し伸べる支援体制は整備されていますか。
委員	地域の子育てを支え合う仕組みとして、1時間あたり600円の負担で子育て経験豊富な有償ボランティアが支援してくれる「さぬき市ファミリー・サポート・センター」が整備されている。都市部で働く人にとっては少額の負担と思えるかもしれないが、さぬき市のパートタイムの時給を考えると手元にはほとんどお金が残らない計算になるので、気軽に利用できる制度とまでは言えない。
委員	企業と労働者が合意すれば、半日単位や時間単位の年次有給休暇を創設することができる。今の時代、午前中に子どもを病院に連れて行き、午後から出社といったスタイルは一般的になっている。福利厚生の実が、結果的に企業活動の安定につながるといったメリットが正しく企業側に理解されると、もっと普及するのではないかと。
会長	ありがとうございました。 【基本目標3 誰もが安心して暮らせるまちづくり】について意見ををお願いします。
委員	農林水産業や商工業などで家族従事者として働く女性も多いが、男女共同参画の意識が十分届いているとは言い難く、もう少し光を当てられるよう考慮する必要がある。また、防災についても基本的なスタンスから考え直す必要があるのではないかと。現在の自主防災組織は、あくまで自治会組織の延長であり、リーダー役の自治会長が不在の場合には、うまく機能しないのではないかと心配している。 災害時に地域に残された人が防災知識を駆使して活動できる組織、必要な時に必要な情報連絡を取り合える体制を構築するためには、地域に暮らす女性を地域防災の中核と考えて自主防災活動を支援するなど、現状と課題を踏まえた取組を期待する。
会長	委員の皆様には、深みのある意見を多く提案していただきました。 簡単にまとめると、あるべき女性活躍の形を地域コミュニティ内で考え直すべきではないか、女性の労働力を生かせる制度の整備を事業所内で目指すべきではないか、現状を適切に振り返って取組を進めることが大切ではないか、といった意見をいただきました。その他、追加で意見などはありますか。
委員	多方面での女性活躍を推進するためには、一般的な知識を広く周知するだけでなく、それぞれの場面で関わりを持つ全ての当事者の「意識改革」が必要だと感じる。市、市民、事業所、団体、地域など「誰の意識」を変えるべきなのか、明確に決めたうえでの地道な取組が必要だ。

会長	委員の皆様から有益な意見が多く出たと思いますので、事務局は十分参考にして計画策定を進めてください。 最後に、議事（４）「その他」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	資料３に基づき、次のとおり説明した。 ①今後の会議予定について ・第３回会議：１０月１日（月）午後２時から 委員意見交換や中学生ワークショップ、進捗状況調査などの結果を踏まえ、「後期計画（原案）」の提示、議論 ・第４回会議：１１月１２日（月）午後２時から 第３回会議での議論を踏まえ、「後期計画（素案）」を取りまとめ ・市民意見提出（パブリックコメント）：１１月下旬～（１か月間） ②男女共同参画推進活動事業（市民企画事業）のスケジュールについて ・資料のとおり。関心のある行事がありましたら、ぜひ参加をお願いしたい。 ③その他 ・市主催行事の実施報告書や実施計画書、日本女性会議パンフレットなどを添付しているので、確認のうえ、興味・関心のある行事への参加をお願いします。
会長	委員の皆様から意見などはありますか。
委員	<質疑なし>
会長	計画策定を支援いただく株式会社ぎょうせいから意見や感想などはありますか。
事務局	活発な議論や意見があり、大変参考になった。今後の計画策定に生かしたい。 ①ヒアリングシート集約結果（サマリー）には、それぞれ回答人数を記入していたが、グループミーティングや委員意見交換で出た内容は、まさにヒアリングシートで市民などから寄せられた意見を踏まえたものだと感じた。 ②男女共同参画プランの見直しでは、「女性活躍推進計画」を盛り込む必要がある。商工業代表委員の意見は大変参考になった。どの部分を女性活躍推進計画に充てるかなど、委員の皆様の見解を伺いつつ、事務局と調整を図りたい。 ③農林水産業について意見が出たが、さぬき市の第一次産業従事者の割合などを確認できていなかった。委員の皆様が必要な取組について活発に議論できるよう、不足するデータなどを随時追加しながら、議論や計画のたたき台を準備していきたい。
会長	活発な議論ありがとうございました。 平成３０年度第２回さぬき市男女共同参画推進協議会を閉会します。 お疲れ様でした。 ＜ 閉 会 ＞（１６：００）